



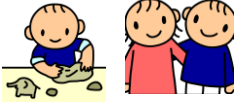





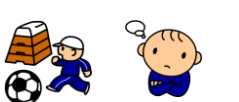


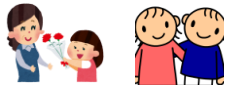



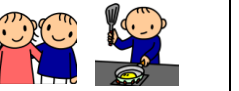
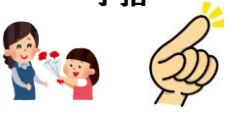





11月トリアだより



少しずつ涼しくなり、秋らしさを感じられるようになりました。子ども達が大好きな屋外遊びを思い切り楽しめそうです。

今月から活動で「お店屋さんごっこ」が始まります。先月に子どもたちが作った制作物を使い、お店屋さんとお客さんになりきって活動をしていきます。他の活動も子どもたちと元気いっぱい楽しく活動していきたいと思います。ご家庭でもトリアでどのような活動をしたのか、ぜひお子さんに聞かれてみてください。

11月の活動

月	火	水	木	金
				1 感触・ルール  スモック
4 休み (振替休日)	5 感触・ルール  スモック	6 屋外・手指  帽子	7 音楽・絵画  スモック	8 運動 認知・課題 
11 音楽・絵画  スモック	12 運動 認知・課題 	13 音楽・壁面制作  スモック	14 お店屋さんごっこ 	15 制作(勤労感謝の日) ルール  スモック
18 感触・ルール  スモック	19 屋外・手指  帽子	20 お店屋さんごっこ 	21 ルール・クッキング (クラッカーサンド)  エプロン・三角巾	22 勤労感謝デー 手指  帽子
25 屋外・手指  帽子	26 お店屋さんごっこ 	27 感触・ルール  スモック 避難訓練(防犯)	28 屋外・手指  帽子	29 誕生会・音楽 

※公認心理師、言語聴覚士、理学療法士の来所日については、後日、玄関に掲示させていただきますので、ご確認下さい。

- ・13時50分頃より、引き継ぎを開始しています。14時15分までに来所されない場合は、一度ご連絡をさせていただきます。
- ・給食の事前準備の為、キャンセルの場合は当日9時30分までにご連絡下さい。また、10時15分までに登園されない際は、ご連絡させていただきます。
- ・年間を通して、靴(運動靴)での登園をお願いします。屋外に出る機会もありますので、動きやすい靴でお願い致します。
- ・持ち物全てに記名をし、持たせて下さい。(記名が不鮮明な物については、書き直しをお願い致します。)
- ・着替えた衣類を入れる袋に名前を書いて、必ず持たせて下さい。(スーパーのビニール袋等で構いません。)
- ・下着(パンツ)の貸し出しがあった際は、未使用の物を返却して頂きますよう、よろしくお願い致します。
- ・社会福祉法人 落穂会のホームページ(<http://www.asahigaokagakuen.jp/>)におたよりを掲載しますので、ご確認ください。また、トリアでの活動の様子も定期的に公開していますので、更新状況をご確認ください。

脳の発達とスマホ

皆さん、スマホやタブレットといったデジタル機器とのつきあい方について、家族で話し合い、子どもさんとの間にルールを作るなどしているでしょうか。

7月の南日本新聞に掲載された「2歳児問題を考える」という寄稿(鹿児島医療・社会・倫理研究会代表世話人 増田彰則先生;心療内科医 増田クリニック院長)の中で、ゲームやスマホ依存の低年齢化が進み、2018年の調査時点で、2歳児の4割がスマホを使用し、2～5歳児の約10%余りが依存傾向にあると書かれていました。ことばにも身の回りのことにも興味・関心が広がる2歳頃に強い人工の光刺激と画像刺激を無防備に与えると脳の発達に悪影響を与える可能性があり、イライラや、寝つきの悪さ、ぐずりが多くなる傾向にあること、また神経回路の基礎ができる3歳頃までに、スマホやテレビを長時間見ること、言語能力の遅れや注意力の問題が起こる可能性もあること、さらには過度な刺激で脳が興奮することを覚えて他の遊びに関心を示さなくなり、癇癪(かんしゃく)を起こしやすく、神経過敏になりやすくなるという傾向も指摘されており、私は少なからずショックを受けました。

もともと脳というのは大人であっても一度に複数の情報を処理することが苦手であり、スマホなどの膨大な刺激と情報を処理することは脳を疲労させ、自覚の有無に関わらず脳の疲労はQOL(生活の質)の低下を招く要因にもなります。デジタル機器だけでなく、いつ何時でも過剰な光や音などの刺激があふれる現代にあっては、大人の脳はもちろん、まだ自分に必要な刺激を取捨選択できない子どもの脳(乳幼児だけでなく)にとっては、かなりの負担になることを知っておく必要があります。

もちろん私もスマホもタブレットも使います。ユーチューブも見ます。障がいのある方々へのその有用性と利便性も理解しており、活用も試みます。小学生からプログラミング授業が始まるとなれば、慣れるのは早いにこしたことはないと思ってしまうかもしれません。AI時代に向けて、私たちがデジタル機器に触れる時間は増えることはあっても減ることはなさそうです。だからこそ、その付き合い方を考える時期に来ているように思います。

言語聴覚士
永山理香

